

## 「桜台まちづくりの基本的方向」

### …まちづくりの進め方について…

桜台自治会  
(まちづくり計画検討委員会)

#### I. はじめに

ニュータウン桜台に入居が始まったのは昭和54年、自治会創立は昭和56年です。幸いにも桜台町会は、先輩諸兄のご尽力により着実に進化し緑に恵まれた安全で安心なまちとなりました。

しかし、私たちを取り巻く状況は、少子高齢化の急激な進行、ライフスタイルの変化、環境問題の深刻化など大きく変化しています。従って自治会活動においても、その変化への適切な対応とともにある程度将来を見込んだ計画的且つ継続的な活動が求められます。

係る観点から、自治会創立30年を前に、“我々がめざすまちの将来像”や“まちづくりの考え方”などについて幅広く検討し、自治会活動の指針となる「まちづくり基本計画」的なものの策定を求める声が挙がってきました。

これを受けて、本年5月に「まちづくり計画検討委員会」を立ち上げ、我々の直近の行政主体である市原市のまちづくり基本計画である「改定市原市総合計画(2005→2015)」をベースに検討を進めてきました。

“まちづくりの基本理念・めざすべき将来像”については、改定市原市総合計画にある趣旨をそのまま適用(市原市民である桜台住民も当然共有できるものとして)することとしました。即ち、次の通りです。

#### **まちづくりの基本理念**

私たちのめざすまちづくりの最大の目標は、豊かな暮らしを実現することのできる社会を築きあげることであり、いつまでも快適で住み続けることのできるまちの実現であります。

今、それぞれの地域が個性と創造性にあふれた将来展望を明確に示しながら、住みたいまち、住んでよかったと思うまちづくりを進めていくことが必要です。

そこで、誰もが生涯をとおして幸せを実感できる社会環境に支えられたやすらぎのあるふるさと・活気のあるまちをめざし、まちづくりの基本理念として「やすらぎと活力」を掲げます。

## 将来の姿

桜台には、深城池の水と点在する公園・緑地の緑など豊かな自然と幼稚園や小学校を有し整然と整備された安全で安心な街並みがあります。このかけがえのない資源の保全・活用を図るとともに、ますます進行する少子高齢社会の中で、これを進化し活性化を進めるためには、みんながパートナーとして力を合わせ、新たな魅力を創出することが大切です。この魅力は、さまざまな価値観を持っている人々の交流をはじめ、豊かな自然や、多くの個性に支えられ、育まれていくものです。このことは、一人一人の誇りと愛着を実現することにもつながります。

そこで、すべての町民が心から「住んでよかった」、「住み続けたい」と感じ、そして「住みたい」と思えるよう、誇りと愛情と笑顔があふれる新しいふるさとの実現をめざし、「ともに輝く 元気なふるさと さくらだい」を将来像として、まちづくりを進めます。

次に“我が町内の現状を見つめ、我々ができること・なすべきこと、我々が向かうべき先”について、「改定市原市総合計画」の中の「まちづくりの基本的方向」に倣って、検討し取りまとめたのが以下に示す「桜台団地まちづくり基本的方向」です。

ここでは、めざす方向を①「助けあう地域社会をめざして」；“ともに支えあうまち”、②「温かい心と未来を託す人づくりをめざして」；“ともに育むまち”、③「人と自然が調和したまちをめざして」；“ともに培うまち”、④「個性あふれる安全なまちをめざして」；“ともに創造するまち”の四つの切り口から捉え、その現状と課題および目標を示しました。更に、この活動を円滑かつ効果的に推進できるよう⑤「計画推進のために」  
として情報の共有化、メンバーシップの確立などについて検討しました。

内容については、まちづくり全般に亘って検討しており、諸活動計画の策定においても施策遂行時の点検においてもその基本となるマニュアルとして有用であると考えます。しかし、多くの点で具体性と深堀が不足しております。この点については、懸案ごとに試行錯誤しながら検討することが効率的であると考え、一先ず、この時点でまちづくり計画検討委員会の作業を終えることと致しました。今後は、本報告書を自治会活動のよりどころとして利用しながら、また適宜見直しを重ねながら“まちづくり基本計画”としてより完成度の高いものに仕上げることにします。

検討にあたり、ご意見・ご提案をいただきました委員のみなさまには、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をうけ賜りますようお願い申し上げます。

まちづくり計画検討委員会メンバー

青木勇司、川合秀樹、坂井治郎、  
西山勝裕、藤原忠、笹野哲郎

## Ⅱ. 桜台団地まちづくり基本的方向

### 1. ともに支えあうまち

～助け合う地域社会をめざして～

#### (1) ふれあいに満ちた助け合いのまちの実現

現状と課題 .....

イ) 急速な少子高齢化、核家族化の進行などを背景に、福祉に対するニーズは、従来の経済的なものから介助などの人的サービスへと移行しつつあります。これらのニーズに迅速かつきめ細かくに対応するには、住民同士のつながりをつくり、支えあい、助け合える地域社会を築く必要があります。

ロ) 要支援当事者一人ひとりが生きがいをもって元気に暮らせる地域社会を実現することも重要です。

ハ) 高齢者に対しては、介護予防の観点から、健康の保持増進と意識高揚を促すとともに、介護が必要となった場合でも、住み慣れた地域で安心して生活できる基盤整備が必要です。

ニ) 障がい者に対しては生活支援体制づくりと社会参加を支援する体制づくりが必要です。

目標 .....

桜台団地住民と自治会が連携・協力して、住み慣れたこの団地で安心して暮らし続けることができるよう、むこう3軒両隣を基盤とした横断的な福祉施策の推進を図ります。

#### (2) 健康づくり

現状と課題 .....

心身ともに健康であることはすべての人々の願いであり、同時に幸福で豊かな人生を過ごすために欠かすことのできない条件です。しかし、食生活や生活様式の変化等に伴い、生活習慣病やこれに起因して介護を要する人が増加の傾向にあります。

目標 .....

ラジオ体操、各種健康セミナー(例:認知症セミナー)、健康遊具の設置、遊歩道の整備等の健康促進活動を盛り上げていきます。

#### (3) 親しみ合える交流の場の創造

現状と課題 .....

住民が心豊かで生きがいある生活を営むためには、生活の基盤である

地域において、助け合いながら、ともに課題解決を実践していく自主的活動の場をつくることが重要です。その自主的活動への支援とともに施設整備が必要です。

目標 ……………

住民一人ひとりが地域で果たすべき役割と責任を認識し、「このまちに住んでよかった」と誰もが実感できる暮らしを実現するため、住民の交流活動を積極的に支援します。

## 2. とともに育むまち

～温かい心と未来を託す人づくりをめざして～

### (4) 安心して子育てできる環境の整備

現状と課題 ……………

少子化や核家族化、人間関係の希薄化などにより子育てに対する悩みや要望は複雑多様化しています。

目標 ……………

安心して子育てができる環境整備や地域で子育てを支援する体制づくりを推進します。

### (5) ゆとりと生きがいの持てるまちの実現

現状と課題 ……………

イ) 健康づくりや体力づくりに対する関心の高まりにより、スポーツ・レクリエーション活動が活発化していることから誰もが気軽に楽しめる環境づくりが求められています。

ロ) 住民の文化的な活動への参加意欲が高まっており、こういった活動に対する支援、さらには後継者の育成が求められています。

目標 ……………

イ) 町民が健康でいきいきと暮らし、自分にあった健康づくりを実践、継続していくことができるスポーツ・レクリエーションの振興を図ります。

ロ) 誰もが気楽に文化活動に取り組むことができる機会の拡充や環境整備を推進します。

## 3. とともに培うまち

～人と自然が調和したまちをめざして～

### (6) 地球にやさしいまちづくり

現状と課題 ……………

従来の資源やエネルギーを大量に消費する、利便性を重視したライフス

タイルを、環境にやさしいものに改めることが求められています。これらを地域の問題として捉え、行政と地域が一体となって持続可能な地域社会の構築に向けた取り組みが必要です。

目標 .....

桜台住民が健康で安全かつ快適な生活を確保できるよう、良好な環境の保全及び創造に努めます。また、環境学習や桜台住民の自主的な環境保全運動を推進します。

#### (7) 資源循環型まちづくり

現状と課題 .....

行政においてはこれまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会構造の見直しが図られており、資源循環型社会の構築をめざしています。住民レベルでもさらなる発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再資源化（リサイクル）に取り組むことが必要です。

目標 .....

住民、町会、行政がそれぞれの役割と責任を自覚し連携して、ごみの減量化と再資源化を図り、資源循環型まちづくりをめざします。

#### (8) うるおいのある水と緑に満ちた美しいまちづくり

現状と課題 .....

桜台団地は深城調整池と周りを囲む桜並木、緑の多い公園等ゆたかな自然環境に恵まれています。これからも子育て環境、人々の生活の場等多角的な視点から美しいまちづくりに努める必要があります。

目標 .....

水辺のうるおい、緑のやすらぎへの愛着心がたかまるなか、豊かな自然をふるさとの原風景として積極的に保全するとともに、身近な水辺空間、緑地空間の創出と活用を図り、花の多い美しい景観をもつまちづくりに努めます。

### 4. ともに創造するまち

～個性あふれる安全なまちをめざして～

#### (9) 安全な生活の確保

現状と課題 .....

安全は住み良い社会の基本的な要素であり、住民が豊かでゆとりある生活を営む上での基盤となります。しかし、近年における地震や台風などの自然災害は各地に大規模な被害をもたらしており、平時からの防災体制が課題となっています。また、市原市の交通事故発生件数は依然として県

内のワースト上位に位置し、加えて犯罪発生件数や放火等による火災も増加しており、生活環境が脅かされています。このため、住民の誰もが安心して暮らせる社会の構築に向けた、地域ぐるみの防災、防犯体制づくりが一層もとめられています。

目標 .....

安心・安全な生活の環境を確保するため、防災体制の強化や交通安全、防犯などの向上に努めるとともに班員相互の意思疎通の向上を目指し、自治会と住民が連携して生活環境の安全確保に取り組む体制づくりを推進します。

#### (10) 快適な生活環境の整備

現状と課題 .....

桜台団地が造成されてから30年近くなり、道路、街路、公園等改修が必要な箇所が多く目に付く様になってきました。景観の問題もありますが安全上の問題でもあり、地道に取り組むべき課題です。

目標 .....

住民として主体的に取り組みながら行政への要請を粘り強く続けていきます。

#### (11) 生活を支える交通環境の整備

現状と課題 .....

現在、桜台団地に関する公共交通機関は日東バスですが、近年その利用客は年々減少の傾向を示しています。また外出支援を必要とする人々、免許返納者が増えています。

目標 .....

既に日東バスには何点か要請していますが、行政からの協力も得ながらその他広範囲に検討していきます。

### 5. 計画推進のために

#### (12) 情報共有化の推進

現状と課題 .....

IT を活用した公共サービスの多様化や質の向上が進んでおりますが、自治会も適宜 IT 化を進めてきており、事務作業の効率化を図るとともに、ホームページを通して自治会活動をお知らせしています。今後はさらに自治会からの情報を住民の皆様により早く伝達する努力が必要です。また、多様化する住民の意見が自治会活動に反映されるよう、様々な機会を通じた公聴活動が求められています。

目標 .....  
高度情報化への対応を図るとともに、地域情報の収集、提供に努め、自治会活動の情報公開を積極的に進めます。

### (13) メンバーシップの確立

現状と課題 .....  
自治会と住民のパートナーシップのもと、まちづくりへの住民参加を推し進め、元気な桜台をめざし、多くの住民の意思が反映されたまちづくりを進める必要があります。

目標 .....  
まちづくりや自治会活動への住民参加を進めるため、NPO やボランティアが活動しやすい環境づくりを進めるとともに、住民自ら行う事業を積極的に応援します。

### (14) 効率的・効果的な財政運営

現状と課題 .....  
自治会費の有効かつ効果的な活用が求められ、一層の内容確認が必要です。

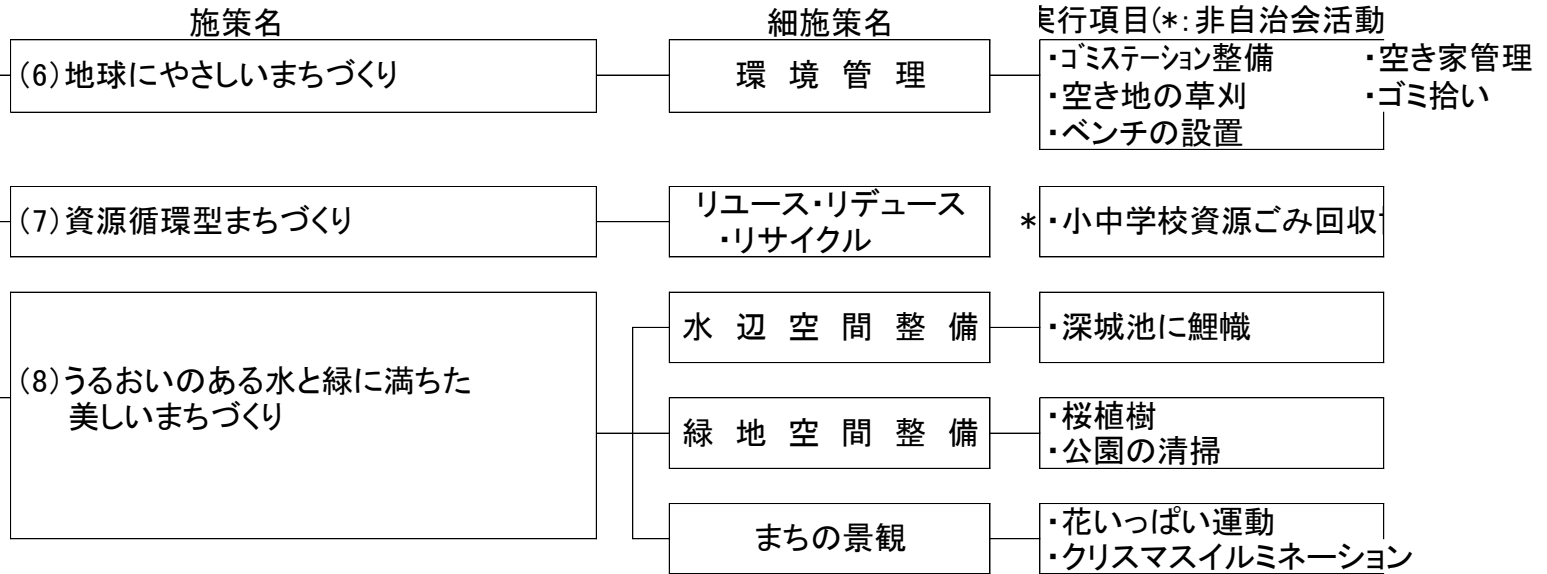
目標 .....  
桜台自治会の財政状態を常に見直すとともに問題点があれば順次是正していきます。

桜台団地まちづくり施策体系図

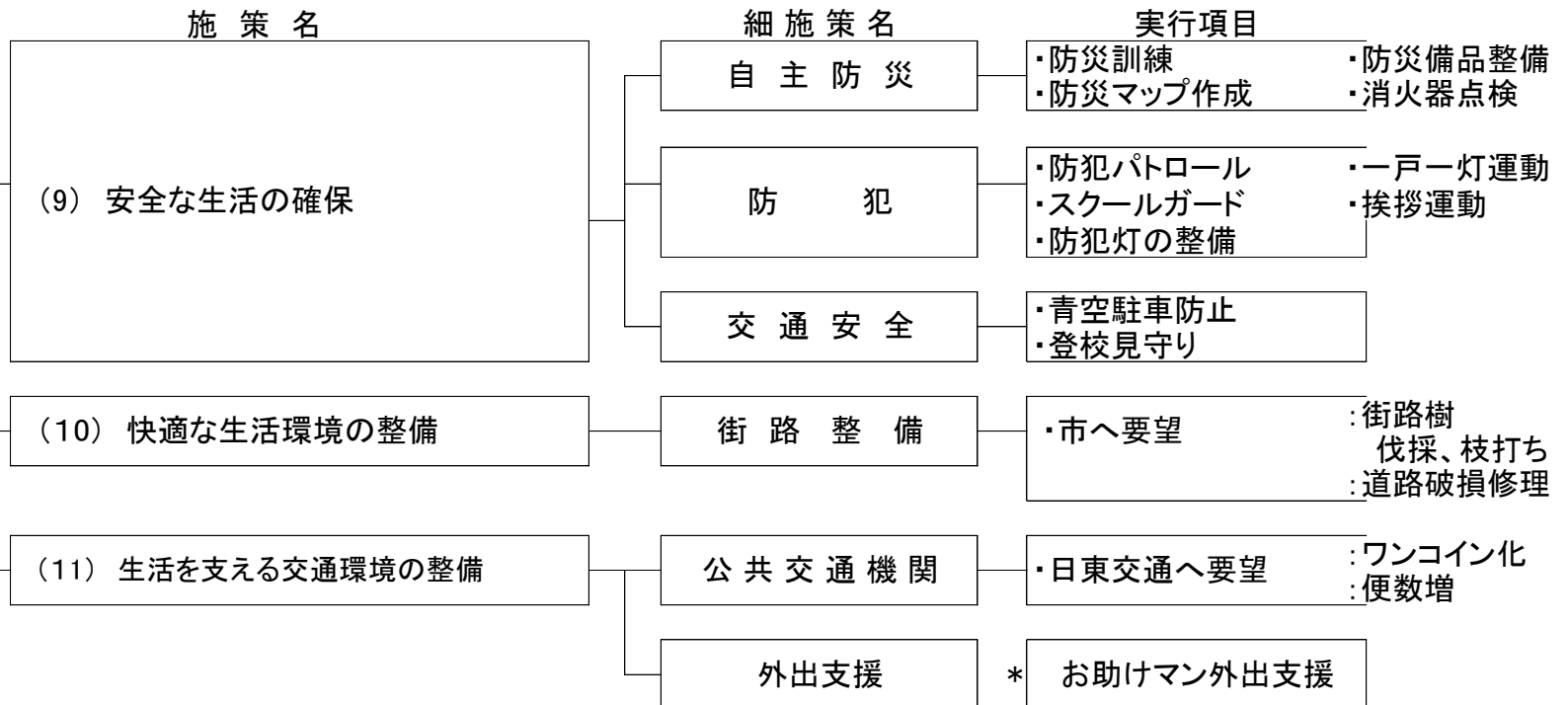




**3. とともに  
培うまち**  
～人と自然が調和した  
まちをめざして～



**4. とともに  
創造するまち**  
～個性あふれる  
安全なまち  
をめざして～



計画推進  
のために

施策名

(12) 情報共有化の推進

細施策名

情報公開・情報発信

実行項目

- ・桜台ニュース
- ・桜台ホームページ

広聴

- ・フロムツー
- ・班長会
- ・地区役員会

(13) メンバーシップの確立

自治会員参画の推進

- ・各種ボランティア活動
- ・まちづくり計画推進委員会
- ・専門部サポーター

(14) 効率的・効果的な財政運営

財政運営

- ・会館施設運営の再検討